

## ナスの育苗管理

ナスの品種は、収量性や品質が良く夏の高温期に生育旺盛なことから「千両2号」が、台木は土壌病害に抵抗性があり、生育が旺盛な「トルバム・ピガー」が普及しています。

### 播種準備

#### 資材の消毒

育苗箱等をケミクロンGで消毒をしておきます。

#### 温床線の設置

サーモスタットを用いた電熱線を、床の温度がムラにならないよう設置し、坪当たり二五〇〜三〇〇Wに設定します。断熱資材として珪ガラ等を使用しますが、病気の発生を防ぐためにも滞水しないように注意して下さい。

#### 床土の準備

播種床についてはスパー子床等の専用培土を使用します。鉢上げ用土は、一〇a当たり約一立方m必要とし、土・腐葉土・有機物を三対一対一の割合で配合し、pHを六〜七に調整しておきます。肥切

れ対策として、活着後液肥またはIB化成二〜三粒鉢毎、ポット錠ジャンプ一〜二粒鉢毎等を施用します。なお、苗立枯れ病の発生予防のためにあらかじめコロルピクリン剤で土壌消毒を実施しておいてください。

### は種

#### は種期・は種量

は種時期は、台木で一月月上旬頃、穂木で一月下旬〜二月上旬には種します。は種量は、一〇a当たり千本の苗を確保するためには、穂木で四〇ml、台木で一〇ml必要となります。また、トルバム・ピガーはプライミング処理済みの種子を使用して下さい。

#### は種方法

穂木、台木ともに育苗箱等へ六×三cmに条播します。このとき育苗箱は七cm以上の深さにします。特に、台木の発芽を揃えるために、昼夜の温度差で一〇℃程度の変温管理が重要となります。加えて、子葉展開時に苗立枯れ

温度管理の目安

	日 間		夜 間	
	床地温	床内気温	床地温	床内気温
播種時	30℃	30℃	22~24℃	20~22℃
発芽後	26~28℃	25~27℃	20~22℃	18~20℃

### 割り接ぎの方法



### 移植

病の発生に注意して下さい。

穂木は本葉二枚頃に育苗箱に九×九cm間隔で、台木は本葉二〜三枚時に一五cmの鉢に移植します。

### 接木

穂木の本葉三〜四枚、台木五〜六枚時に、割り接ぎをします。また、接木一週間前より灌水を控え、逆に前日には十分な灌水を行います。この他、台木のわき芽を取り除いておきます。接木の活着率は、接ぎ木後の温度、湿度、光の管理に大きく左右されます。

接木後三日目までは、薄いコモ

などで被服遮光し、温度二八〜二〇℃、地温二五〜二〇℃、湿度九〇%程度に管理します。このときは活着を良くするために換気はしないでください。

四〜六日目にかけて朝夕光を当てるようにし、徐々に日を当てる時間を長くします。このときおれないかぎり換気をはじめてください。温度二八〜一八℃、地温二五〜二〇℃に管理します。

七日日以降は日中のしおれ具合をみて、昼間の光線の強い間だけは日除けを行う程度にすることと、換気を徐々に増やしていきます。温度二八〜一六℃、地温二三〜一八℃に管理します。そして十日目をめどに通常管理に戻れるようになります。

### 接木後の管理

春先の害虫としてアブラムシ、スリップス類の発生に注意します。苗の生育に合わせて鉢ずらしを適宜行います。また、定植二週間前から育苗温度を下げ苗を順化していきます。定植は一番花が開花した頃に行ってください。